

報告日 令和7年6月25日
報告回次 2回目

令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	東かがわ市			代表者名	上村 一郎
担当者部署(属性)	情シス担当	担当者部署名	総務部財務課デジタル推進室	連絡先電話番号	0879-26-1215
担当者役職	室長	担当者氏名	植田 雅仁	連絡先E-mail	
住所	769-2701 香川県東かがわ市湊1847番地1				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名	連絡先部署
担当者氏名	連絡先電話番号

1-3. 支援を求める内容

支援方法	具体的課題への支援	事業名	次期 東かがわデジタル化推進戦略（仮称）
概要	次期5年間の戦略策定について、データ分析やAI活用について専門的なアドバイスを受ける。		
支援を求める分野	計画策定支援 オープンデータ EBPM（エビデンスに基づく政策立案） AI活用 生成AI活用		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	有	515	令和8年1月19日	事前打合せ&支援・助言	実地
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和7年11月21日	支援・助言(実地)	10時00分	16時00分	60
				活動時間（分）	300
2-2. 派遣場所	会場名	東かがわ市役所		最寄駅	讃岐白鳥駅
	所在地	東かがわ市湊1847-1		最寄駅からの交通手段	タクシーまたはバス

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	森戸 裕一
評価	大変良い
上記評価の理由 (どのようなところがよかったです等詳細に)	デジタルリーダーの改選により新しいデジタルリーダーにも分かるよう説明をしていただいた。また、先進自治体の事例を掲載した資料を用意いただき、今後、本市がどのようにAIを活用していくかの道筋について、講演をいただいた。これから先、人口減少と少子高齢化が加速するため、どのように業務を継続させていくか、また、職員数の減少によりいかにAIを活用するべきかについての説明を受けた。
アドバイザーへの要望事項	引き続きよろしくお願いします。

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】			合計人数	27人
	属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
		人数	27	0	0

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	前回のアドバイザーのAI活用に関しての講演を参考に各所属のデジタルリーダーから次期東かがわデジタル化推進戦略の具体施策案を提出してもらったが、AIの活用方法が限定的な部分や施策から派生されるデータ活用などの詰めが甘いところが散見している。また、政策立案全体を通して、AIの活用方法が具体的に分かっていない職員もいることから、今一度、おさらいをしてほしい。
支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	次期デジタル化推進戦略の具体施策をアップデートするために、AIの活用によりどのような応用が出来るのかを含めて助言をいただくことで、施策を実施した際により有効となるように施策の強化に繋げたい。また、よりよい政策とするためには、更にどのようなAI活用を実施すべきかといった点を理解したい。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	前回のおさらいとして、正規職員は政策立案を求められるため、AIを活用することで作業効率が飛躍的に向上する。ただし、AIは完璧でないため、必ずハルシネーションチェックが必要。生成AIの活用により実現性を更に高められる。また、いかに良い具体施策案を作成しても、上司に相談した際、伝わりにくければ意見が出ない事もあることから、生成AIで図解した説明資料を用意すると活発な意見交換が行える。今後は是非、この方法を活用してほしい。具体的に産業のデジタル化を例にあげると東かがわ市のように高齢化している農家さんにIoTのしくみを導入しても活用に期待できないことから、その知識を活用したコンサル的産業を作り出すことが有効とされる。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	各所属のデジタルリーダーが作成した具体施策案を本研修前にアドバイザーに情報共有していた事で整理された資料提供を受け更なるAI活用の検討課題が明確となったことから、具体施策案の見直しを行えるようになった。また、デジタル化推進戦略に方針が記載されているので、それに基づき仕事の仕方を変えることがこれから必要となるため、自治体職員の覚悟と責任を持って、住民・運用・セキュリティ・BPRなどの切り口でAI活用をしなければならないことが認識できた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	時になし	
アンケートの内容と分析結果	<p>講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)</p> <p>アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。</p> <p>アドバイザーがデジタルリーダー向けにアンケートを作成し調査します。その後アドバイザーにアンケートを返却、アドバイザーにて分析した後、結果報告書という流れのため、本報告書の提出期限に間に合いませんので、ご了承ください。</p>	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるもののリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある 5年前と同様、市職員により次期デジタル化推進戦略を作成する。
4-4. 事業の最終的な目指す姿	各部署と一緒に、計画の作成を行う。	

5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載可

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good_practices/past_year_all_houkoku/

なお「その他」を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意下さい

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真 (JPEG等)」を数枚程度貼り付けて下さい。

